

はままつWell-Beingアワード2025 応募申込書

【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU



企業又は団体名：プロギング静岡

- ・ 地域幸福度（Well-Being）指標は、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を可視化する指標として、一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（以下 SCI-Japan ）が作成・開発した Liveable Well-Being City 指標 ® の別称です。
- ・ Liveable Well Being City 指標を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、SCI-Japanに帰属しています。

応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU

No	項目	内容
1	取組やサービスの名称	プロギング静岡 ～ポジティブな力で足元から世界を変える環境×健康コミュニティ活動～
2	取組やサービスの対象・ターゲット	・ 健康意識と環境意識を両立したい浜松市民 ・ 地域コミュニティとのつながりを求める市民 ・ SDGs・社会貢献活動に関心のある個人・企業
3	取組やサービスの内容	プロギングというゴミ拾い×ジョギングのSDGsフィットネスを実施 活動実績（2021年8月～2025年8月現在） 総参加者数：3,107名 開催回数：309回 ゴミ回収量：1,766kg 開催頻度：静岡県内月13回、浜松市内月1回（浜北地区） 活動地域：静岡県13市町村（浜松市は浜北地区中心） 特別な取組み 聖隷厚生園（障がい者支援施設）とのコラボレーション(浜松駅で実施) プロギングフェス開催（浜松城公園で実施） 庄内半島さくら開花マラソンでの実施 静岡ブルーレヴズとの連携 掛川城30周年記念事業での実施 など

応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU

No	項目	内容
4	対象・ターゲットの幸福感向上のストーリー	(取組やサービスにより対象・ターゲットの幸福感がどのように向上するか、仮説を立てて記載) ※末尾にある様式「幸福感向上のロジックツリー」を作成し、幸福感向上の仮説を補足してください。 「ポジティブエネルギー変換」による多面的Well-Being向上 身体的Well-Being - 科学的根拠に基づく運動効果：しゃがむ動作により、通常のジョギングと比較して運動効果1.2倍 - 継続的な健康習慣形成：4年間で3,107名の参加実績による健康増進コミュニティの構築 - 世代を超えた運動機会：様々な年代が参加可能な適度な運動強度 精神的Well-Being - ネガティブからポジティブへの変換：ゴミへの怒りを「交流×健康×環境貢献」の楽しさに転換 - 達成感と自己効力感：1,766kgのゴミ回収による具体的な環境貢献実感 - ストレス解消とメンタルヘルス向上：自然の中での適度な運動と社会貢献の組み合わせ 社会的Well-Being - 多様なコミュニティ形成：障がい者支援施設、スポーツチーム、企業との連携 - 世代間交流促進：自己紹介とコミュニケーションタイムによる人間関係構築 - 社会貢献意識の向上：SDGs・CSR活動への参加機会提供 環境的Well-Being - 居住環境の質向上：地域の美化による住民の地域愛着向上 - 環境意識の醸成：「拾う人>捨てる人」のバランス反転への貢献

応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU

No	項目	内容
5	地域への波及効果	(対象・ターゲットの幸福感向上により、地域全体の幸福感へどのように波及していくか記載) 直接的波及効果 ・ 参加者の行動変容：3,107名の参加者が日常的な環境意識を向上 ・ 企業・団体への波及：聖隷厚生園との連携拡大 ・ メディア効果：TV・新聞・ラジオ掲載による認知拡大 地域間波及効果 ・ 13市町村への展開：静岡県全体への活動拡大 ・ 他地域への影響：世界大会日本予選を浜松で開催し、全国への発信 長期的波及効果 ・ 持続可能なコミュニティ形成：4年間継続による地域文化としての定着 ・ 次世代への環境教育：子どもから大人まで参加する環境学習機会の創出 ・ 地域経済活性化：イベント開催による交流人口増加

応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU

No	項目	内容
6	取組やサービスのPDCAサイクルの設計	(取組やサービスについて、PDCAサイクルを効果的に実施するための方針を記載) ※実際に取組やサービスのPDCAサイクルが未整備であっても、検証方法や実施体制等の方針や構想を記載してください。 Plan (計画) ・ 月次開催計画：13市町村での定期開催スケジュール策定 ・ 安全管理体制：ルート設定、救急対応、保険加入等の安全確保 ・ 連携企画立案：地域団体・企業との協働イベント企画 Do (実行) ・ 継続的開催：309回の開催実績による安定した活動実施 ・ 多様な参加機会：イベント参加、協力、スポンサーシップ、研修、レクリエーション ・ 広報活動：HP、SNS、メディア連携による参加者募集 Check (評価) ・ 定量評価：参加者数（3,107名）、ゴミ回収量（1,766kg）、開催数（309回） ・ 定性評価：参加者アンケート、メディア掲載効果、連携団体からのフィードバック ・ 社会的評価：世界大会日本予選開催、各種団体との連携実績 Action (改善) ・ 活動エリア拡大：1市から13市町村への展開実績 ・ 連携強化：障がい者支援、スポーツ、企業等との多角的連携発展 ・ プログラム多様化：単発イベントから継続活動、研修プログラムまでの発展

応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

Digital Smart City HAMAMATSU

No	項目	内容
7	取組やサービスを紹介したホームページやSNS等（任意）	（ホームページのURL等を記載） https://www.plogging-shizuoka.com/ https://www.instagram.com/plogging.shizuoka
8	取組やサービスの写真等（任意）	（写真等の画像を枠内に貼り付けてください） ※応募申込書ファイル自体の容量が10MBを超えてしまう場合は、 浜松市スマート申請の「応募申込書の提出」の補足資料1～3にてご提出ください。   

応募申込書【はままつWell-Beingデザイン賞】

<幸福感向上のロジックツリー>

